

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第3区分  
【発行日】令和3年2月4日(2021.2.4)

【公開番号】特開2019-172846(P2019-172846A)  
【公開日】令和1年10月10日(2019.10.10)  
【年通号数】公開・登録公報2019-041  
【出願番号】特願2018-63303(P2018-63303)  
【国際特許分類】

C 0 8 G 59/14 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 59/14

C 0 9 K 3/00 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月16日(2020.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

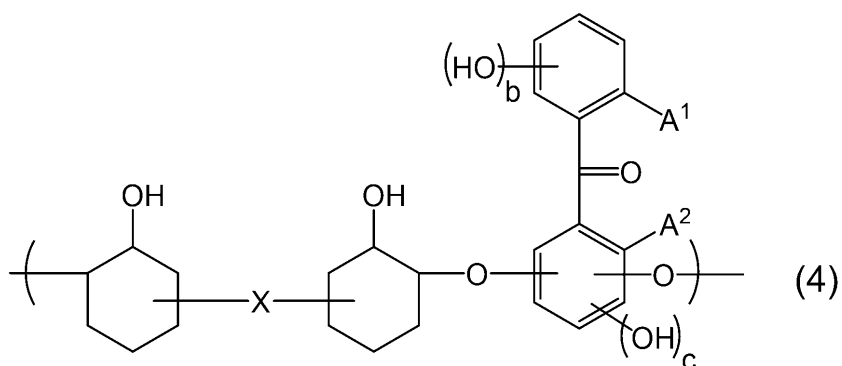
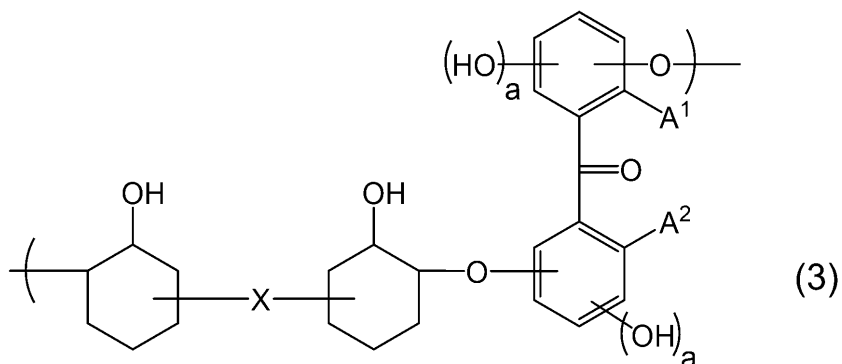
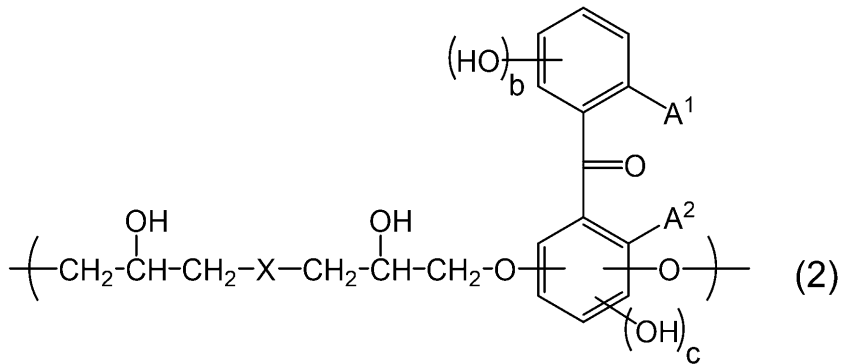
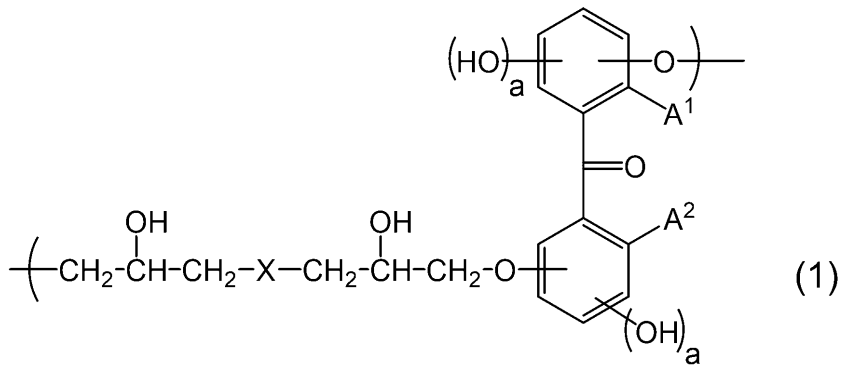
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(1)乃至式(4)で表される構造単位のうち、少なくとも1種の構造単位を有する、重量平均分子量1,000乃至500,000の重合体。

## 【化 1】



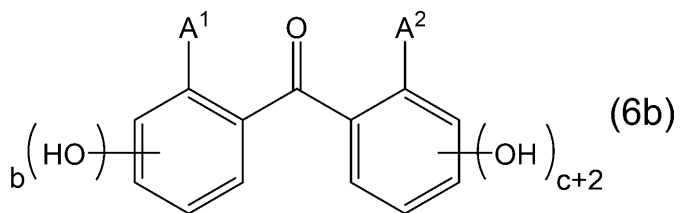
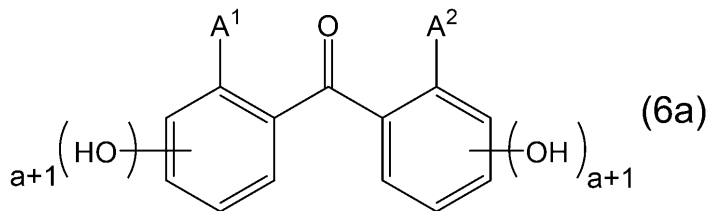
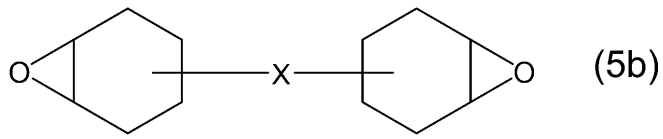
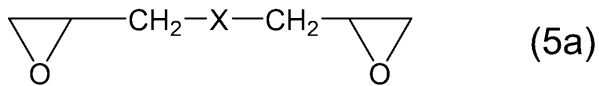
(式中、 $A^1$ 及び $A^2$ はそれぞれ独立に水素原子又はヒドロキシ基を表し、且つ該 $A^1$ 及び $A^2$ のうち少なくとも1つはヒドロキシ基を表し、2つの $a$ はそれぞれ独立に0乃至3の整数を表し、 $b$ は0乃至4の整数を表し、 $c$ は0乃至2の整数を表し、 $X$ は芳香族環、脂肪族環及び含窒素複素環からなる群から選択される環、エーテル結合、もしくはエステル結合を含む2価の有機基、又は前記環もしくは炭素原子数1乃至6のアルキレン基及びエーテル結合もしくはエステル結合を含む2価の有機基を表す。)

## 【請求項 2】

前記重合体の原料モノマーは、下記式(5a)又は式(5b)で表される化合物及び下

記式(6a)又は式(6b)で表される化合物である、請求項1に記載の重合体。

【化2】

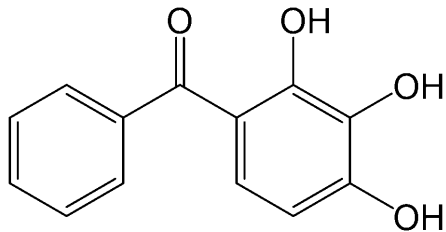


(式中、 $A^1$ 、 $A^2$ 、 $a$ 、 $b$ 、 $c$ 及び $X$ は請求項1に記載の定義と同義である。)

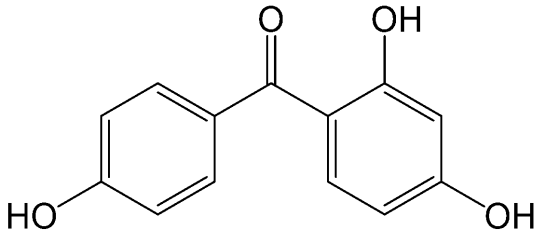
【請求項3】

前記式(6a)又は式(6b)で表される化合物は、下記式(6-1)乃至式(6-5)で表される化合物のうちいずれかである、請求項1又は請求項2に記載の重合体。

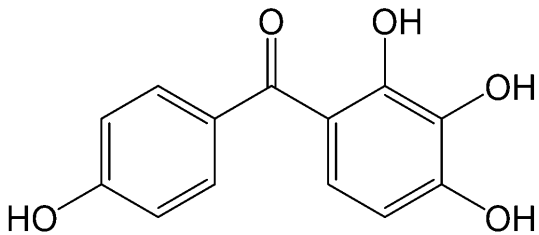
## 【化 3】



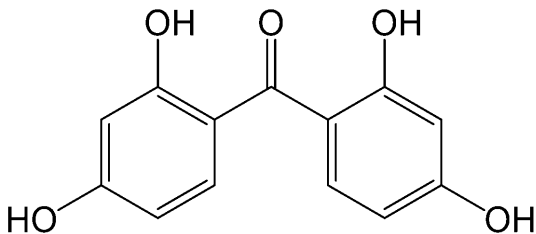
(6-1)



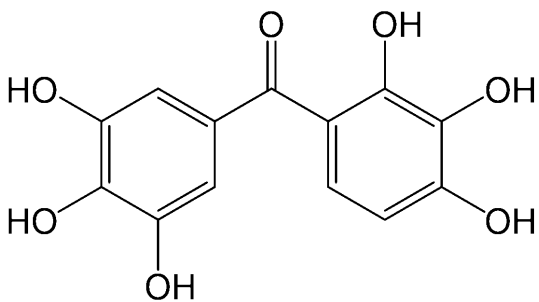
(6-2)



(6-3)



(6-4)



(6-5)

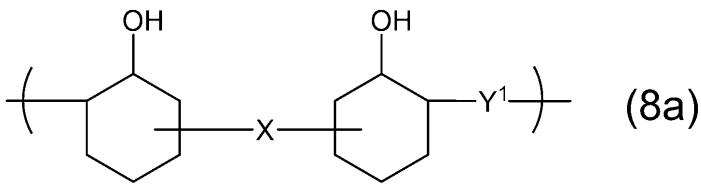
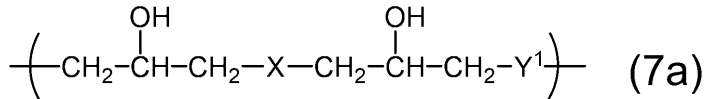
## 【請求項 4】

前記式(5a)で表される化合物が、ビスフェノール型エポキシ化合物、ビスフェノール型エポキシ化合物の水素化物、ビスフェノール型エポキシ化合物の臭素化物、ポリアルキレングリコールジグリシジルエーテル、グリシジルエステル型エポキシ化合物、グリシジルエステル型エポキシ化合物の水素化物、含窒素複素環を有するエポキシ化合物、又はビスアリールフルオレン骨格を有するエポキシ化合物である、請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載の重合体。

## 【請求項 5】

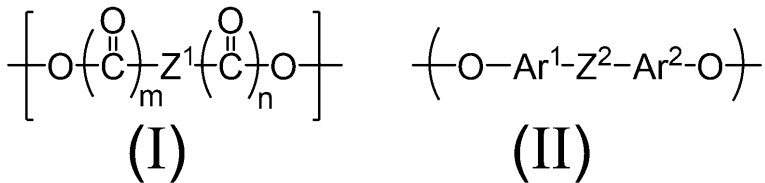
さらに、下記式(7a)又は式(8a)で表される構造単位を有する、請求項1乃至請求項4のいずれか一項に記載の重合体。

## 【化4】



(式中、Xは請求項1に記載の定義と同義であり、Y<sup>1</sup>は下記式(I)又は式(II)で表される2価の有機基を表す。)

## 【化5】

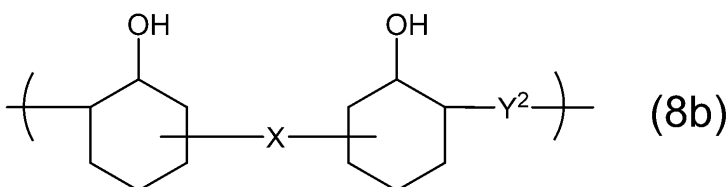
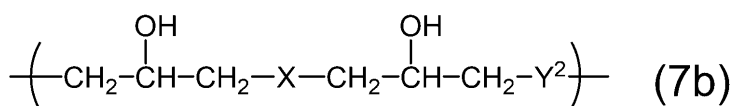


(式中、Z<sup>1</sup>は2価の芳香族炭化水素基又は2価の脂肪族炭化水素基を表し、該2価の芳香族炭化水素基又は2価の脂肪族炭化水素基は置換基としてヒドロキシ基を少なくとも1つ有していてもよく、m及びnはそれぞれ独立に0又は1を表し、Z<sup>2</sup>は単結合、スルホン基、スルフィド結合、エーテル結合、エステル結合、2価の芳香族炭化水素基、2価の脂肪族炭化水素基、又は2価の芳香族炭化水素基と2価の脂肪族炭化水素基との組み合わせを表し、該2価の脂肪族炭化水素基は水素原子の一部又は全部がフェニル基又はハロゲノ基で置換されていてもよく、Ar<sup>1</sup>及びAr<sup>2</sup>はそれぞれ独立にフェニレン基又はナフチレン基を表し、該フェニレン基又はナフチレン基は置換基としてフェニル基、炭素原子数1乃至6のアルキル基、ハロゲノ基、又は炭素原子数1乃至6のアルコキシ基を少なくとも1つ有してもよい。)

## 【請求項6】

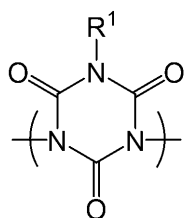
さらに、下記式(7b)又は式(8b)で表される構造単位を有する、請求項1乃至請求項4のいずれか一項に記載の重合体。

## 【化6】

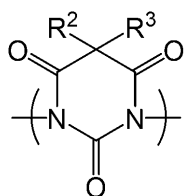


(式中、Xは請求項1に記載の定義と同義であり、Y<sup>2</sup>は下記式(III)乃至式(V)で表される2価の有機基のうちいずれかを表す。)

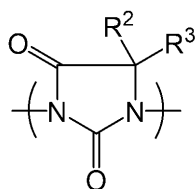
## 【化 7】



(III)



(IV)



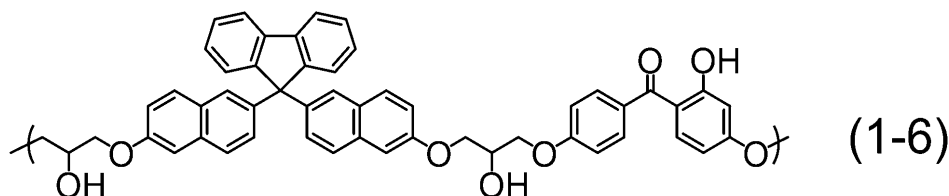
(V)

(式中、 $R^1$ は炭素原子数1乃至6のアルキル基、炭素原子数3乃至6のアルケニル基もしくはアルキニル基、フェニル基、又はベンジル基を表し、該フェニル基又はベンジル基は置換基として炭素原子数1乃至6のアルキル基、ハロゲン基、炭素原子数1乃至6のアルコキシ基、ニトロ基又はシアノ基を少なくとも1つ有していてもよく、 $R^2$ 及び $R^3$ はそれぞれ独立に水素原子、炭素原子数1乃至6のアルキル基、炭素原子数3乃至6のアルケニル基もしくはアルキニル基、フェニル基、又はベンジル基を表し、該フェニル基又はベンジル基は置換基として炭素原子数1乃至6のアルキル基、ハロゲン基、炭素原子数1乃至6のアルコキシ基、ニトロ基又はシアノ基を少なくとも1つ有していてもよい。)

## 【請求項 7】

下記式(1-6)で表される構造単位を有する、請求項1乃至請求項4のいずれか一項に記載の重合体。

## 【化 8】

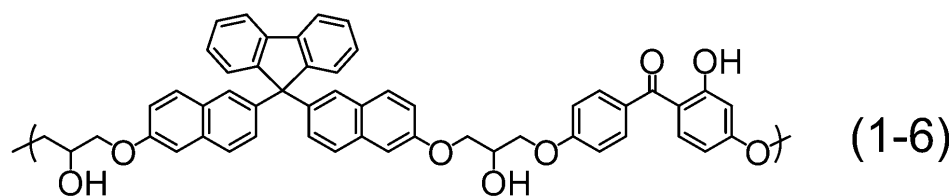


(1-6)

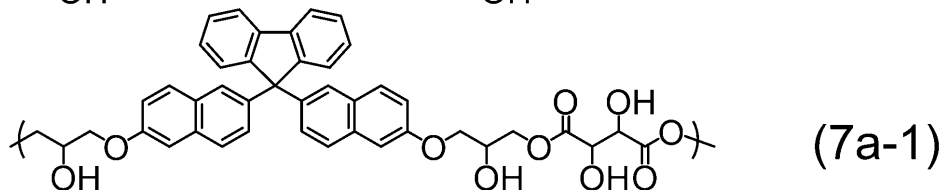
## 【請求項 8】

下記式(1-6)及び下記式(7a-1)で表される構造単位を有する、請求項5に記載の重合体。

## 【化 9】



(1-6)



(7a-1)

## 【請求項 9】

請求項1乃至請求項8のいずれか一項に記載の重合体を50質量%以上含む紫外線吸収剤。

## 【請求項 10】

請求項1乃至請求項8のいずれか一項に記載の重合体のみからなる紫外線吸収剤。

## 【請求項 11】

請求項1乃至請求項8のいずれか一項に記載の重合体を含有する樹脂組成物。

## 【請求項 1 2】

硬化剤をさらに含有する請求項 1 1 に記載の樹脂組成物。

## 【請求項 1 3】

前記硬化剤は多官能ブロックイソシアネート化合物である請求項 1 2 に記載の樹脂組成物。

## 【請求項 1 4】

溶剤をさらに含有する請求項 1 1 乃至請求項 1 3 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

## 【請求項 1 5】

波長 365 nm での透過率が 70 % 未満の紫外線吸収膜形成用樹脂組成物である請求項 1 1 乃至請求項 1 4 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

## 【請求項 1 6】

レンズ形成用樹脂組成物である請求項 1 1 乃至請求項 1 4 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。